

# まいどさん

足寄町商工会青年部

R2.5.1 No.188

経営研修委員会 庄司

## ☆青年部インタビューリレー☆

青年部員一人ひとりのことをより深く知ってもらうために  
リレー形式で紹介をしていきます。

NO.188 は小林義高部員、高坂友也部員、岩崎雄太部員です。



### プロフィール

小林 義高（こばやし よしたか）

1980 年 足寄町出身

1999 年 札幌日本大学高等学校卒業

2001 年 株式会社マルヨ産業入社

### 一 経歴について教えてください

高校卒業後、札幌で趣味を生かしつつ暮らそうかと思っていましたが、やはり地元と思  
い足寄町に帰ってきました。

色々あって、2000年8月頃に株式会社マルヨ産業にアルバイトとして入社し、2001年に正  
社員として入社致しました。

### 一 会社事業内容について

足寄町発注の上下水道工事、機械設備工事及び水道施設工事、一般住宅の給排水設備工  
事、個人水道、牛舎等の管・設備等、多種多彩の仕事を行っております。

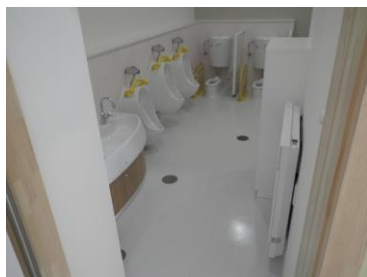
### 一 自分の業務内容について

私が行っている仕事は、会社の事業内容にもありますが現場にでて何でもします。  
上下水道であれば、現地での測量、丁張出し、各官公庁や近隣住民への書類等作成など工  
事を行う上での事前準備みたいなものでしょうか。特に測量は間違えると施工すべてが台無  
しになってしまうぐらい重要なので、いつも神経をすり減らして行っています。（笑）

機械設備工事においては、建築・電気・機械と今でいう3密で成り立っています。  
目と頭が痛くなるほど、パソコンでCADとにらめっこしながら、位置出しや配管ルート  
等を決め、さらにそこから打ち合わせをして決めます。建物が完成した時の満足感は半端

ないですね。

書けば紙が足りなくなりますが、一つとして同じ内容の仕事がないので、楽しく仕事をしています。



※機械設備工事（衛生器具取付）



※上水道工事（橋添架管）

## 一 今後の展望について

現在は機械化が進んでいます。いろいろな機械があり、生産性の向上を図ることは可能です。ただやはりこの業界は技術者なくしては成り立たないと思っております。また、今はどこも人手不足です。足寄町は高齢化が進み、若い世代が都会を求めて流出してしまう...が後を絶たない状況です。仕事も夏は暑い・冬は寒いに加え、いわゆる3K（きつい・汚い・危険）というイメージが強いかもしれません。しかし、働き方改革・待遇面なども改善されていますので仕事に関してもっと知ってもらえるように情報を発信し人手不足を解消できたらいいなと考えています。

## 一 青年部に入ったきっかけ、入ってみてどうか

青年部には急遽入りました。青年部総会の前々日ぐらいに加入することを知り、かなりびっくりしたのを今でも思い出します（笑）。ちょうど同じタイミングで入った人もいましたし、青年部には同級生等もいましたので不安と期待半々でした。どのような活動をしているかなど、全くわかりませんでしたが、町の催し事など様々な事に取り組んでいるんだと感じました。

皆さん面白い方々で活動中は楽しく過ごしています。（仕事が忙しいとなかなか参加できませんが）仕事の方でまだまだやらなければいけないことが沢山あるので、どこまで出来るかはわかりませんが、参加できる時は参加し、皆さんと足寄町の為に頑張っていきたいと思います。

## 事業概要

名称 株式会社 マルヨ産業

代表 瀬下 正寿

住所 足寄郡足寄町北2条3丁目7番地

電話番号 0156-25-3029

事業内容 管工事業

創業 1982年4月



以上小林部員でした。裏面に続きます。